

地域振興推進費事業計画・自己評価書(平成30年度実績)

提出区分		実績	
整理番号	9	課題区分	C
実施機関		佐久地域振興局	
事業名	佐久地域広域観光推進事業	担当課	所属 商工観光課
			電話 0267-63-3157
			E-mail sakuchi-shokan@pref.nagano.lg.jp
事業概要	目的 (目指す姿)	軽井沢を訪れる観光客が佐久地域を周遊観光できるよう、佐久広域連合や沿線自治体と連携した観光PRを行うとともに、美しい星空と青空をテーマとした観光地域づくりを推進する。	
	現状と課題	多くの観光客が来る軽井沢から周辺自治体への波及は薄く、広域的周遊観光が課題である。また、天体観測施設等が数多くある佐久地域の美しい星空を活かした観光地域づくりが必要である。	
	内容 (変更後の内容)	○観光客が佐久地域の観光情報を取得するために、広域的な情報を発信するWEBサイトや「信州ナビ」のQRコードを掲載するカードを作成し、軽井沢駅等で配布。 ○信州アフターデスティネーションキャンペーンの開催に併せて、軽井沢駅周辺で市町村観光PRを実施(7月1日、9月30日他)。 ○東信州中山道の統一したブランド商品・製品の仕組みづくりを市町村、商工会、商工会議所等と連携して検討する。 ○白駒池・苔の森は、中部横断自動車道が八千穂高原ICまで延伸されると引き続き多くの観光客が見込まれるため、シャトルバスや公共交通機関の情報を掲載するチラシを作成・配布し、白駒池周辺駐車場の渋滞緩和を図る。 ○美しい星空をテーマとした観光地域づくりを推進するため、天体観測施設や市町村と連携し、佐久地域の星空観賞や天体施設の視察を実施する。さらに、南信州、木曾地域振興局と連携し、「長野県は宇宙県」スタンプラリーに協力する。	
	事業期間	平成30年4月 ～ 平成31年3月	
	成果目標 (成果指標)	佐久地域への観光客の前年以上の増加を図る(平成29年 15,402千人)	
事業費等	(単位:円)		
	事業を構成する細事業名等	実施内容	実績額
	広域PRカード作成	信州ナビ等のQRコード掲載カードを作成し、軽井沢駅等で配布	160,133
	信州アフターDCPRイベント	信州アフターDCに併せたイベントの開催	94,004
	東信州中山道ブランドづくり	東信州中山道の統一したブランド商品等の仕組みづくりの検討	20,580
	白駒の池・苔の森渋滞対策	白駒の池・苔の森の渋滞対策のため、シャトルバス等の情報チラシを作成	95,040
	美しい星空や宇宙を学べる観光地域づくり	星空観賞会や宇宙に関するイベント等の開催、協力	449,081
合 計		818,838	
事業実績・成果	事業実績	事業の成果	評価
	○QRコード入り広域観光情報発信カードを4種類12,000枚作成し、軽井沢町内の商業施設等に配置した。 ○信州アフターDCのオープニング、クローズングに併せ、軽井沢駅で市町村と連携したイベントを実施し、PRを行った。(7/1、9/30) ○東信州中山道関係者に向けて、魅力向上・情報発信のためのセミナーを開催。(1/24 参加者36人) ○白駒の池・苔の森へのシャトルバス運行情報等を記載した案内チラシを9,000部作成・配布して周知を図った。 ○星空観賞会を4回開催(一般対象3回、地元小中学生対象1回)し、合計132人が参加。 ○「長野県は宇宙県」スタンプラリー2018に景品を提供し、宇宙や星空を活かした観光誘客を促進した。	○信州アフターDC等により、平成30年の軽井沢町をはじめ佐久地域への観光客は15,886.8千人(速報値、前年比3.1%増)となった。 ○広域観光情報発信カードは、当初の予定より短期間で配布ができたことから増刷を行い、軽井沢町へ訪れた多くの観光客に対する周遊観光のPRに繋がった。 ○星空観賞会に132人に参加いただき、佐久地域の星空の魅力を学び、観光地域づくりに取り組む機運が醸成された。	○ 期待以上 ● 期待どおり ○ やや下回る ○ 期待以下
今後の方向性	今後も、星空をテーマとした観光地域づくりや軽井沢から佐久地域への観光客の誘客に取り組んでいく。		